

福祉サービス第三者評価結果（総括表）

①第三者評価機関名

一般社団法人いばらき社会福祉サポート

②施設・事業所情報

名称：救護施設ナザレ園	種別：救護施設
代表者氏名：佐々木和也	定員（利用人数）： 90（現数 91） 名
所在地：茨城県那珂市中里 322-2	
TEL：029-296-1732	ホームページ：https://nazareen.or.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 昭和42年4月15日	
経営法人・設置法人（法人名等）：社会福祉法人 ナザレ園	
職員数	常勤職員： 33 名 非常勤職員： 9 名
専門職員	社会福祉士 5 名 介護福祉士 9 名
	看護師 4 名 栄養士 1 名
	調理師 5 名
施設・設備の概要	4 人部屋、個室 レストランコスモス
	浴室（特浴、一般浴） 喫茶店たんぽぽ

③理念・基本方針

キリスト教精神に基づく「愛」を実践していきます。

- ・私たちは、喜びと希望を持ち、安心して、楽しめる生活を支援します。
- ・私たちは、人権を尊重し、一人ひとりのその人らしさを大切にします。
- ・私たちは、福祉の仕事に喜びを感じられる職場を目指します。

④施設・事業所の特徴的な取組

法人の人事管理システムを活用し、職員のキャリアアップを図っている。

「ユニバーサル就労支援事業」や「生活サポート事業」を展開し、地域で生活する上で様々な困難を抱えている人の相談援助を行い、自立した生活を送ることができるよう支援している。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年11月26日（契約日）～ 令和3年3月23日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成30年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

・法人総体の人事管理システムとして、キャリア・ステージ・プログラムを開発し職員一人ひとりが目標マネジメント・シートを作成し考課職員とともに作成して、評価に当たっています。職員全員に浸透することなどの課題はありますが、職員が自身のキャリア・ステージを概ね理解しており、今後の業務課題や資格取得の目標となっています。考課結果が、賞与や昇給に反映されており、他の法人事業所への異動等においても継続的に評価考課ができる仕組みとなっています。

・法人の設立理念に基づき、独自に「ユニバーサル就労支援事業」「生活サポート事業」を展開し地域の生活困難な課題のある人への支援を積極的に実施しています。

◇改善を求められる点

・法人本部の経営会議等において、各事業所の課題や事業実績及び地域等での利用評価等が分析され事業計画に反映されていることが伺われますが、建物等の補修計画だけでなく施設利用者(生活者)への支援向上計画や就労作業、地域移行支援等の中・長期計画を職員や生活者及び家族等にも明らかにした上で、単年度の計画が策定されることが望まれます。

・生活者の権利擁護の立場から利用開始時に、より丁寧な説明を行うとともに文書にて明確に伝えるように工夫されることを期待します。

・多くのボランティア受け入れの実績があり地域との交流が盛んであることが伺われます。受け入れに当たっては、様々な思いをもって活動に当たる方々へ公平に受け入れる目的からも受け入れマニュアルの策定が望まれます。

・日々の食事の提供は広く開放的な空間で会食出来ていることが感じられます。更に、今までの実績で近隣の商店街等へ外出し、買い物や外食を盛んに実施していることが理解できますが、施設内での生活が主になりがちな生活者のためにも選択食やバイキング等を定期的な実施できることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価受審は今回で2回目となります。当施設の強みと弱みが明確になり、今後目指す方向性や課題について確認し修正や改善につなげることを目的にしています。

今回は当法人(施設)が設立の趣旨や基本理念に基づいて行っている、制度の狭間や隙間に陥っている方々に対する支援について高評価をいただき、今後も社会福祉法人として地域ニーズに応えていかなければならないと改めて感じました。

反対に、常日頃おぼろげながら感じていた課題について明確にいただきました。特に、組織としての役割分掌や利用者に対する支援方針、ボランティア等

の受け入れに関する事項などを明文化しなければならないことを改めて示されました。

今後は、職員や利用者に対して説明すべきことや明示しなければならないことは、口頭で丁寧に説明すると同時に、それを文書化し、より一層丁寧な説明ができる仕組みづくりに取り組んでいきます。また、対外的にも、当施設が取り組んでいることを積極的に発信していきます。